

第3回 NPO ハワイシニアライフ協会 2009年 会員年次総会

10/9/2009

ハワイシニアライフ協会会長
坂井 諒三

会長挨拶

2009年報告

「大成功の2年目を振り返る」

第3回 NPO ハワイシニアライフ協会総会を本日この由緒あるエルクスクラブにて開催させていただきますことは大変光栄であります。

まず、最初にこのような素晴らしいクラブをご紹介いただきましたジニー・フォーガティさん(当協会理事並びにエルクスクラブの会員)には感謝をさせていただきたいと思えます。

又、本日の総会を開催させていただく為にご努力いただきました副会長、専務理事をはじめとする関係各位の方々、及びボランティアの方々にも深く感謝をいたしたいと思えます。

思い返せば昨年このエルクスクラブにて設立1周年の総会を開かさせていただき、会員の皆様にご報告させていただきましたのが昨日のように思われます。光陰矢のごとしです。

当協会はその大きな目的は3つあります。

- (1) 会員の皆様のハワイでのアクティブシニアライフの実現のサポートであり
- (2) ハワイにおいて日米シニアのお友達づくりのサポートであり
- (3) シニア同士の交流による日米親善と世界交流の草の根活動であります。

今年2009年は2年目を終えることとなります。

(1) 2009年活動の総括

今年の活動は全体的に申しまして初年度2008年度の成功のステップの継続とその強化につきますと思えます。

2008年はいわゆる“一気呵成に怒濤の如く”このハワイシニアライフ協会を立ち上げるのに無我夢中の1年でした。

今年2009年は①その勢いを継続しながら(成功のステップの継続)②かつ会員数が増えても質を落とさないことが第一の我々のめざしたところでありました。その為に6つの目標を掲げました。

第1は成功ステップの継続であり(2)は質を落とさないこと(3)会員の希望調査を行うことであり(4)他団体とのコラボレーションであり(5)我々しか出来ない活動の推進であり(6)財務体制の強化でありました。結果的にみますと(5)の我々しか出来ない活動の推進と(6)財務体制の強化以外は BEST をつくし大成功に終わった年だと思えます。

内容を検証してみたいと思えます。

第1は成功ステップの継続です。毎週金曜日のイベント活動の強化、サークル活動の拡大、ニュースレターの内容充実、インフォメーションセンターの更なる強化、ボランティア活動の拡充などがあります。これらは成功をおさめました。年間には 2000 人を超える会員の皆様が当協会の毎週金曜日の定例イベントにご参加いただきましたし、サークル活動では新しいサークル活動も生じたウクレレレッスンなどです。新しいサークルとしてスタートとした「クプナアイランダース」が演奏活動まで発展しクアキニ病院まで慰問にいきました。

又、土曜日の朝の気功エクササイズもコンスタントに 30 名を越えます会員の方々がお集まりいただいておりますし、般若湯の会(美酒を飲んで浮世を語る)も楽しいお酒の会になりました。この度新しく映画鑑賞会(DVD)や室内ゲームの会もスタートする予定です。

又以上のような定例イベントに加えスペシャルイベントを 27 回も開催及び協賛しました。

次のようなスペシャルイベントを実行いたしました。

- (1) 第 1 回日本支部アロハ会開催(10月)
- (2) バカラ(Baccarat)で楽しむすてきなパーティ(11 月)
- (3) フォスター植物園ガイド付ツアー(11 月)
- (4) 芥川賞作家、玄侑宗久師講演会(12 月)
- (5) ホノルルマラソン・レースディウォーク(12 月)
- (6) クリスマスパーティの集い(12 月)
- (7) マジックアイランドで初日の出を拝んで、気功のエクササイズ(1 月元旦)
- (8) ハワイ出雲大社とソニーオープン練習ラウンド見学(1月)
- (9) 陶芸の体験(コーナー)教室 (2月)
- (10) ウクレレピクニックに参加 (2月)
- (11) 春山満講演会「闇に活路を」(3月)
- (12) 「御輿でわっしょい」ホノルルフェスティバル参加(3月)
- (13) 「アロハ将棋祭り」の開催 (4月) 島9段佐藤棋王の参加
- (14) 第 2 回日本支部アロハ会開催
- (15) 「日野原重明」聖路加病院院長の講演の共催 (4月)
- (16) 稲盛和夫講演会
- (17) 秘境の大地クアロア牧場ツアー (5月)(7月)
- (18) アロハピアノフェスティバルへの共催 (6月)
- (19) 第 1 回チャリティゴルフコンペクアキニ病院へ寄付—(6 月)
- (20) 「仏教彫刻レッスン」開催 (6月)
- (21) 「独立記念日をワイキキ・ヨットクラブで楽しむ会」の開催 (7月)

- (22) 「歌と押し花絵でつづる日本民話の集い」主催 (8月)
- (23) 「天皇皇后両陛下晩餐会」への参加 (7月)
- (24) 「ワイキキビーチクリーンナップ作戦」に参加 (8月)
- (25) 「ハイキングで楽しむ会」に参加 (7月)、(9月)
- (26) 「ビショップミュージアム」特別ツアー 開催 (9月)
- (27) 総会記念講演「すばるが歩んだ10年」 国立天文観測所所長林正彦博士(10月予定)

何と平均1ヶ月2回以上のスペシャルイベントを開催しており、延べ700名以上の方々に参加いただきました。

これに関わりました協会事務局の方々や行事企画委員の方々やボランティアの方々の大きな支援のお陰であり、ありがとうございました。

最近ではハワイのイベントはハワイシニアライフ協会にコンタクトを取って見るという風潮も出始め今後もこのスペシャルイベントは続けていきたいと思っております。これによってもっともつと会員の皆様に愛され、何かおもしろい組織として常に生き生きした会になりたいと思っております。

(2) 入会者数と会員数の推移

2-1 (個人会員)

2009年9月現在の当協会入会者数は766名になりました。

これは2008年9月の508名に対して50%増であります。

次に退会者を含めました現在の会員数をみますと現在の会員数は600名となりました。その内訳は夫婦会員が353名(59%)であり個人会員は245名(41%)、寄付会員が2名となります。つまり当協会のご夫婦でお入りになっている会員数が個人会員よりも上回っており、これが当協会の特徴でもあります。

地域別に見ますと日本会員は426名で71%を占めておりハワイ会員が169名で28%となります。その他地域はカリフォルニア、ワシントン、カナダ、グアム、オーストラリアと続いております。日本会員の3倍がハワイ会員つまり3:1の割合になっております。

2-2 (法人会員)

法人会員数は36社となり5社ばかり増えました。

今後はもう少し法人会員の数を増やす予定であります。法人会員の皆様にはその特典として法人会員様の(広告)紹介ページを当ウェブサイトに掲載させていただいております。

2-3 (目標)

2010年のターゲットは個人会員1000名、法人会員40社が目標です。これを達成する為に現会員のご紹介ポイント制キャンペーンを行う予定になっております。

(3) 「定例活動実績」

2009年の活動実績について述べさせていただきたいと思っております。今年度は何と2000人の方々にご利用いただきました。

第1週金曜日「ファーストフライデー探索」

都会的な芸術の街に生まれ変わったダウントウンで、飲茶デイナーとアートギャラリー探索を満喫いたしております。

第2金曜日は、「アクティブシニア・セミナー」であります。

在住理事や専門家たちが毎回テーマの異なる無料セミナーを開催しております。ハワイ暮らしに役立つ情報がいっぱいあります。

第3金曜日は、「ワイキキ・ヨットクラブでの昼食会」

会員制ヨットクラブのオープンエリア・ダイニングで開放的な気分に浸りながら、ランチと交流会を楽しんでいただいております。多数のお友達を作っていただいております。

第4金曜日は、「パールカントリー・ゴルフ会」

すばらしい眺望のパール・カントリークラブで、ハワイならではの楽園ゴルフをエンジョイしていただいております。

以上のような金曜日イベントに加え来年度は**シニア・チューズデイ**を新しく加えたいと思っております。

「映画鑑賞会」と「室内ゲーム会」「ハワイの歴史ツアー」を考えております。

最初はサークルとしてスタートし、将来は定例イベントに定着できればよいと考えています。

(4) ボランティア活動

これらの定例イベントとスペシャルイベントの実施につきましては**9名の執行役員32名の理事の方々、I.C.C.イベント委員会の役員のボランティア活動に加え毎回の様に汗水を流していただいております87名を超える草の根ボランティアの方々の活動があります。**

本当にこのボランティアの皆様の活躍なしに当協会の活動は存在いたしません。ここに会長として深くアロハの感謝をささげたいと思います。皆様にはガソリン代をも支払うことなく心苦しく思っております。皆様に表彰状を差し上げたいのですが別紙ボランティアとしてご活躍していただいた方々としてお名前とボランティア内容を掲載させていただきます。**皆様お名前を掲載**させていただくことでお許しください。ありがとうございました。

(5) 日本支部会の充実/ハワイ島コナ支部の交流会スタート

今年度は**日本支部(日本オフィス)が会員の方々の為のサービスを向上し、充実して参りました。**年2回の日本会員の方々の日本での集まり**「アロハ会」**が充実してまいりました。今年、4月10日、第2回アロハ会を赤坂バードランドで開催し、110名の参加がありました。

11月3日に第3回アロハ会を東京アメリカンクラブで企画しております。

これに加えることに**「サロン デ ヒスレア」**の会という関東支部の集まりもスタートしましたし、ゴルフ大会が日本で予定されております。

又、関西支部もシニアフライデーにダイナーの会がこの度スタートいたしました。

又、**ハワイ島コナ支部内**での交流もスタートいたしました。

ハワイ島コナ支部も来年は隔月ごとにゴルフ大会とその他の企画を考えております。

(6) 会員の為のサービス向上

会員のためのサービスを第1プライオリティとして考えて参りました。その為に4月に実施した会員の方々へのアンケートに基づきいろいろな改善を行って参りました。

6-1 会員お得情報の充実

毎月のイベント情報に当協会の趣旨に賛同された地元の企業様から多くの特典をいただき、会員様にご提供を始めました。

現在は30社のハワイの地元企業から**平均10~25%**のディスカウント及びその他の特典を会員の皆様にいただいております。是非、会員証をご活用ください。

6-2 日本会員のハワイ特別ツアーの企画

多分実現は来年2月頃になると思いますが、ハワイ会員の独自企画での日本会員皆様へのハワイ特別企画ツアーの開催の企画をしております。

6-3 ハワイでのイベント数の増加

新しいスペシャルイベントが目白押し。

6-4 ハワイ便り/イベント情報/インフォメーションセンターの充実/ウェブサイトの更新

今年は内容的にプロフェッショナルに徹し質の向上に努め皆様からの高い評価を得る事ができました。

(7) 事務効率アップ

昨年来の課題でありましたコンピュータのデータシステムが完成、いよいよ今月より稼働を始めました。従来、皆様からご提出いただいた入会申込書の内容を手入力でコンピュータに登録していましたが、インプットの際に住所、Eメールアドレス、その他の入力ミスが懸念されておりました。今回のシステム完成で、その懸念は限りなく小さくなりました。次に、**年会費等のお支払いがクレジットカードを使って全てオンライン上で、セキュリティも十分保障された環境でいただけるようになりました。**これにより、クレジットカード番号をファックスで送ったり、銀行へ行って送金手続きをしたりする煩わしさがなくなります。さらに、「ハワイ便り」「イベント予定」のEメール発信と郵送発送も、全てシステム上で管理されますので、より間違いなくスピーディに行われます。

そして、もっとも重要なことは、システムの完成により、当協会の会員がどんなに増えても、きちんと対応できるようになったことです。

(8) チャリティ活動

年2回のゴルフ大会を通じハワイの地元社会への貢献を始めました。

第1回クアキニ病院チャリティゴルフは6月23日にパールカントリークラブで開催され、2500ドルの寄付を行いました。

第2回は来年2月17日にゴルフ大会を行い地元日本人学校に寄付する予定であります。

(9) 協会に対する寄付

9-1 法人会員や大口寄付の皆様への感謝

ここで、感謝をこめて皆様にご報告したいことがあります。

いろいろな活動をここまでやってこられたのも、当協会の趣旨に賛同し、ご参加いただいた法人会員、寄付会員の皆様の会費という形の資金のご提供があって初めて可能であったということです。また、Friends of Hawaii Charities, Inc. 様からの7000ドルの助成金も私たちを大きく勇気付けてくれました。皆様に厚く御礼申し上げます。

今後ともよろしくご支援のほどお願い申し上げます。

9-2 会費納入時にご寄付いただいた皆様への大感謝

又これまで会費納入時にご寄付いただいた方又今回総会時に寄付頂いた方々又イベント開催時にご寄付をいただいた方々にこの場をかり厚く御礼申し上げます。

今後とも当協会として小口寄付は大変ありがたくお受けしたいと思います。

いずれハワイ便りを通じましてご寄付頂いた方のご芳名を公表したいと思っております。

(10) わかりやすいキャッチフレーズで皆様に愛される会

当協会は皆様に愛される会としてわかりやすいキャッチフレーズを使用するように心がけております。

「スポーツも人生も後半戦がおもしろい」

「アクティブシニアライフ」「皆様に尊敬されるボランティア」をもっと浸透させるよう努力して参りました。今後とも新しくとシンプルでかつ的を得たキャッチフレーズを使いわかりやすい行動目標と組織にして参ります。

では次に **2010 年度(2009～2010)の活動方針**
についてお話しさせていただきたいと思います。

第1に新しい飛躍の年にしたいと思います。

過去 2 年の成功ステップを継続し、より強化にステップアップしたいと思います。イベント活動、サークル活動、ハワイ便り、イベント情報、インフォメーションセンター、シニアライフカフェ、ボランティア活動の強化を 2009 年を土台にもっともっと飛躍したいと思います。

その為には、(1)会員の皆様との密なる情報交換(2)日本支部を中心とした各支部へのサポート及び(3)新会員の獲得、紹介キャンペーン(4)日本会員のハワイツアー(5)ハワイ会員の日本訪問ツアーの実施などあらゆる努力を行い一生懸命働きたいと思います。

第2に会員のベネフィットの増加、強化を図りたいと思います。

会員お得情報への更なる増加/滞在型、ゆとりツアーを特別料金で提供/各支部内部での会員交流の促進/ハワイでのイベント、サークル活動の増加/日本会員のハワイでの講演サポート等を通じもっともっと会員の皆様が当協会を使っていただき喜んでいただくことに努力したいと思います。

第3に会員数が増えても質は落とさないようにしたいと思います。

ボランティアの増加/バックアップシステム/ボランティアトレーニングの強化/事務の効率化により会の質の低下は絶対にいたしません。

第4に強靱な財務体制の構築を図りたいと思います。

スペシャルイベントによる収入アップ/各イベントごとの DONATION のお願い。
当協会を真にバックアップをしていただく方々のフォロー/各プロジェクトごとに利益確保等により収入 UP を図りたい。

第5にハワイシニアライフ協会でしか出来ない活動を推進していきたいと思います。

日本人の忘れた心 イン ハワイシリーズ/青春時代の忘れ物復活シリーズの推進/ハンディキャップ支援ツアーなどの特別ツアーの推進をはかりたいと思います。

第6に以上の様な活動方針を実施に移す際特別プログラムを推進したい。

1. 会員紹介プログラム
2. 新規会員プログラム(ジュニア会員、VIP 会員、等の区分)
3. 日本会員のハワイ特別ツアー、ハワイ会員の日本ツアー

会員数目標は、**個人会員 1000 名、法人会員は 40 社**が 一気呵成に 2010 年に達成したい目標であります。

最後にハワイのシニア協会会員は(1)人と競争しない(2)人をうらやましがらない(3)お金に振り回されない方々の集まりです。

2010年度は新しい飛躍の年です。益々会員の皆様へのベネフィットの増加を図りたいと思っております。かつ会員数が増えても質を落とすことなく当協会ではかできない活動を推進して参りたいと思っております。

日本語を話すシニアの方々がハワイでアロハスピリッツを十分満喫しながら心豊かなアクティブライフを実現されます様に支援させていただきたいと思っております。

2010年もお皆様と共にがんばりたいと思っております。

“スポーツも人生も後半戦がおもしろい”

“ハワイで過ごすアクティブライフ”

お楽しみください。

本日の特別講演、国立天文台ハワイ観測所所長 林正彦博士の「すばるが歩んだ10年」日常を忘れ壮大でロマンティックな宇宙の話もお楽しみください。

ご清聴ありがとうございました。

Hawaii Senior Life Enrichment Association
ハワイシニアライフ協会

2010年活動方針

1. **新しい飛躍の年**とする。

目標一個人会員数 1000 名、法人会員 40 社

- 支部活動へのサポート
- シニアライフ協会認知度アップ

2. **会員ベネフィットの増加・強化**を図る

- 会員お得情報のさらなる増加
- 日本会員のハワイへの特別滞在ツアーの企画（滞在型ゆとりツアーと特別料金）
- 支部内部での会員相互交流・「サロン デ ヒスレア」等
- アロハチューズデーを新設
（映画 DVD 鑑賞会, カラオケの会, 室内ゲームの会(碁, 将棋, マージャン, マジック, 短歌)
- 日本会員のハワイでの講演や発表会のサポート

3. **会員数が増えても質は落とさない**ようにする。

- 2012年からの会員の爆発的な増加に今から対応する。
- 理事/ボランティアの増員
- バックアップシステムのスタート
- トレーニング（ボランティア）制度のスタート

4. **強靱な財務体制**を確立する。

- スペシャルイベントによる収入アップ
- 各プロジェクト毎による利益確保
- 大口スポンサーからのサポート

5. **ハワイシニアライフしか出来ない活動の推進**

日本人の忘れた心インハワイ
青春時代の忘れ物復活シリーズ
ハンデイキャップ支援ツアー

6. **マンネリを廃し、楽しく面白い組織にする。**

- おもしろくなければシニアライフではない

“スポーツも人生も**後半戦**がおもしろい” **飛躍**の年の為に一気呵成に怒涛のごとく